

第5回 四大学連合文化講演会

東京医科歯科大学・東京外国語大学・東京工業大学・一橋大学

環境・社会・人間における「安全・安心」を探る —安全で安心の出来る社会—

～学術研究の最前線をやさしく解説する～

2010年10月8日(金) 13:00~16:30

- 場 所: 一橋記念講堂(東京都千代田区一ツ橋2-1-2)
- 主 催: 四大学連合
(東京医科歯科大学・東京外国語大学・東京工業大学・一橋大学)
- 共 催: 日本経済新聞社
- 企 画: 四大学連合附置研究所
- 後 援: お茶の水会, 東京外語会, 蔵前工業会, 如水会
- 定 員: 500名(入場無料)

お申込・お問合せ先

東京外国語大学研究協力課共同研究拠点係
〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1
TEL 042-330-5600 FAX 042-330-5610
E-MAIL yondai@tufs.ac.jp URL <http://www.aa.tufs.ac.jp/~yondai/>

プログラム

12:20	開場
13:00-13:10	開会の辞 東京外国語大学 学長
13:10-13:20	来賓のご挨拶 文部科学省
13:20-14:00	「地球環境と原子力—基盤研究から身近な環境技術開発へ—」 東京工業大学原子炉工学研究所長 有富正憲
14:00-14:40	「成長なければ安心なしか?」 一橋大学経済研究所 教授 浅子和美
14:40-15:00	休憩
15:00-15:40	「国境の安定がもたらす人間の「安全・安心」:中国・ベトナム国境を事例に」 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所長 栗原浩英
15:40-16:20	「神経変性概念のパラダイムシフトと治療戦略」 東京医科歯科大学難治疾患研究所神経病理学分野 教授 岡澤均
16:20-16:30	閉会の辞 東京医科歯科大学 学長

参加ご希望の方は、インターネット又は葉書・FAXにて郵便番号・住所・氏名・年齢・所属先・電話・メールアドレス等を明記し、2010年9月24日(金)必着(先着順)で、上記宛先までお申し込み下さい。

● 講演者紹介 ●



東京工業大学
原子炉工学研究所長
有富 正憲
(ありとみ まさのり)

1947年生まれ。1977年東京工業大学大学院理工学研究科原子核工学専攻博士課程修了。東京工業大学原子炉工学研究所の助手、助教授を経て1997年に教授、2007年より同研究所長。専門は、原子力熱流体工学、原子力安全工学、気液二相流動力学、核燃料輸送工学、使用済燃料管理工学等。将来型軽水炉の開発基礎研究を実施、並びに、核燃料物質の安全輸送と使用済燃料中間貯蔵技術の学会標準策定、更に、原子力基盤研究の成果に基づく環境関連技術開発に従事。日本混相流学会会長、日本原子力学会理事、日本機械学会評議員、日本伝熱学会監事。

URL: <http://www.nr.titech.ac.jp/~maritomi>



東京外国語大学
アジア・アフリカ言語文化研究所長
栗原 浩英
(くりはら ひろひで)

1957年生まれ。1987年東京大学大学院総合文化研究科(国際関係論)博士課程中退。博士(学術)。東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所助手、助教授を経て、2004年より教授、2009年より所長。専攻はベトナム現代史。最近は、主として1950年代以降のベトナムと中国・ソ連(ロシア)の関係について、文献資料調査とフィールドワークに基づいた研究を行っている。ベトナムの経験を通じて、日本が中国といかに向き合うべきかが探究している。

<http://www.aa.tufs.ac.jp/~hkuri/camp/>



一橋大学経済研究所 教授
浅子 和美
(あさこ かずみ)

1951年生まれ。東京大学経済学部卒業後Yale大学大学院経済学研究科卒業(Ph.D. in Economics)。筑波大学社会学系講師、横浜国立大学経済学部助教授、同教授を経て、1995年より一橋大学経済研究所教授(システム解析研究部門)。この間、日本銀行金融研究所、大蔵省財政金融研究所、経済企画庁経済研究所、海外経済協力基金開発援助研究所、日本政策投資銀行設備投資研究所で客員研究員を務める。他に世田谷市民大学運営委員、中国廈門大学兼職教授、東北師範大学客座教授。専門はマクロ経済学理論、日本経済の実証分析。

<http://www.ier.hit-u.ac.jp/Japanese/faculty/asako.html>



東京医科歯科大学 難治疾患研究所
神経病理学分野 教授
岡澤 均
(おかざわ ひとし)

1959年生まれ。東京大学医学部卒業。医学博士。東京大学助手、東京都神経科学総合研究所部門長を経て、2003年より現職。専門は、神経内科学・脳科学。日本神経学会専門医・指導医。ES細胞の最重要制御因子でありPS細胞作成の必須因子であるOct-3/4の発見者である。東京大学神経内科において脳疾患研究を始め、精神発達遅滞・小頭症の新たな原因遺伝子PQB1を発見した。また、神経変性の新しい分子メカニズムを解明した。科学技術振興機構さきがけ、CRESTの研究者、新学術領域研究「シナプス・サーキットパノロジー」の創成の領域代表者、日本神経学会、日本神経科学学会、日本神経化学会、日本ケミカルバイオロジー学会などの役員、科学研究費専門委員、国際総合学術誌PLoS ONEのエディターも務める。

<http://www.tmd.ac.jp/mri/npat/index.html>

東京医科歯科大学・東京外国語大学・東京工業大学・一橋大学は、2001年3月に四大学連合憲章を結び、真に国際競争に耐える研究教育体制を確立すべく、たゆまぬ努力を続けてまいりました。その努力の一環として、世界最先端の研究を強力に推進してきております。そして、この9年間に世界第1級の研究成果を数多く上げてまいりました。第5回目の今回も、学術研究の最前線をわかりやすく解説します。

《講演要旨》

1 地球環境と原子力

－ 基盤研究から身近な環境技術開発へ －

東京工業大学原子炉工学研究所長 有富 正憲

地球温暖化防止のために原子力エネルギーの果たす役割を論じ、革新的原子力システム開発や原子力システムの安全性発電に関して、要素技術ばかりではなく常にシステムと安全を考慮して行っている基礎研究を紹介する。そして、万一の原子炉の事故時を模擬した高温実験や、気泡の表面近傍に不純物が濃縮するという原理を利用した濁水の浄化に関する研究等を基盤として身近にある環境問題に目を向けた研究にも着手しており、アスベスト廃材を解体工事現場で電磁誘導加熱により無害化する技術と、アスファルト舗装版の切断水を回収し、無害化処理する技術について議論する。

2 成長なければ安心なしか?

一橋大学経済研究所 教授 浅子 和美

日本経済の凋落ぶりが叫ばれる昨今であるが、その打開策として「成長戦略」に期待がかかっている。膨大な財政赤字や年金の持続可能性、さらには中国などの新興国の追い上げのなかで「成長なければ安心なし」の掛け声が響く。しかし、本当に経済成長は不可欠であろうか。「恒産なくして恒心なし」(孟子)ではあるが、成長スピードについてもあてはまるのか。すなわち、経済成長率は高ければ高いほど望ましいのか。こうした問題に経済学理論で考える。

3 国境の安定がもたらす人間の「安全・安心」

中国・ベトナム国境を事例に

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所長 栗原 浩英

日本にいと実感がわかないが、陸上国境を有する国家間では、国境地帯の安定と中央政府間の関係とは密接な相互作用のもとにある。ベトナムと中国は、1979年の国境地帯における武力衝突(中越戦争)から30年を経た2009年、1300キロメートルに及ぶ陸上国境線全線を画定するに至った。国境地帯は危険な、閉鎖された場から、平和な、自由往来の場へと大きな変貌を遂げた。このような変化を可能にした要因は何であったのか、考察してみたい。

4 『神経変性概念のパラダイムシフトと治療戦略』

東京医科歯科大学難治疾患研究所神経病理学分野 教授 岡澤 均

アルツハイマー病、パーキンソン病をはじめとする神経変性疾患は、高齢化した日本社会において大きな問題となっている。従来、脳における異常タンパク凝集・蓄積と神経細胞死が原因と考えられてきたが、近年の病態メカニズム解明とともに大きなパラダイムシフトが起きている。凝集前・疾患タンパクによって引き起こされる神経細胞機能失調が初期病変の中核であり、この初期病変の分子生物学的理解に基づいて、後期病変への進行を食い止めることが、変性疾患の治療開発の上での最重要課題である。

会場案内

一橋記念講堂：学術総合センター内。如水会館隣の建物

- 半蔵門線
 - 三田線
 - 新宿線
 - 東西線
- 『神保町駅』A8 出口 徒歩3分
『竹橋駅』1B 出口 徒歩4分



FAX用参加申込書

(送付先：042-330-5610)

《第5回 四大学連合文化講演会参加申込書》

お名前 _____ 年齢(_____ 歳)

所属先 _____

役職 _____

ご住所 〒 _____

電話番号 _____

F A X _____

Email _____

● お申込のきっかけ(番号に○をつけてください)

1. 講演会ホームページを見て _____
2. 日本経済新聞の記事・広告 _____
3. ポスターを見て _____
4. 大学等からの案内(大学名等: _____)
5. その他(_____)

※この申込書に記載された内容は、講演会のみ 사용됩니다。外部に漏れることはありません。